

対トーゴ共和国 事業展開計画

2021年 4月 現在

基本方針 (大目標)	回廊開発を通じた持続的経済成長の促進と基礎的サービス強化を通じた貧困削減・格差是正
---------------	---

重点分野1 (中目標)	回廊開発
----------------	------

開発課題1-1 (小目標) 回廊開発	【現状と課題】 トーゴ政府は、2030年の中所得国入りを目指して策定した国家開発計画（PND）（2018-2022）に基づき、ロメ港を域内のロジスティック・ハブとした西アフリカ地域の発展を促進すべく、回廊の開発及びそれに付随する成長産業の促進に取り組んでいる。	【開発課題への対応方針】 「PND 2018-2022」の第1及び第2の柱であり、トーゴ政府が国土開発の最重要軸と位置付けるロメ港を拠点とし、国土を南北に縦断し、ブルキナファソ等の内陸国へのゲートウェイとなるロジスティクス回廊の開発に貢献する協力を行う。更に、同回廊は西アフリカ「成長の環」、アビジャンーラコス・ハイウェイ等の地域統合加速化のイニシアティブと連携していることから、我が国は運輸・交通インフラの整備を中心に、成長産業の振興を含む持続的な経済成長を支援する。													
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
					2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度					
	ロジスティクス回廊の活性化プログラム	国土開発及び地域統合の最重要軸であるロジスティクス回廊の活性化のため、情報整備、計画策定及びインフラ建設等を支援する。	ロメ港整備計画	無償	■							27.94	9,14		
			カラ橋及びクモン橋建設計画	無償	■							31.25	9,11		
			ソコデ・バイパス建設計画準備調査	協賛		■								9,11	
			ロメ港運営管理及び運用上の安全性改善アドバイザー	個別専門家		■	■	■							9,14
		農業開発、インフラ開発分野等の課題別研修	課題別研修他	■	■									2,8,9	
		食料安全保障のための農業ネットワーク（Agri-Net）	個別研修	■	■	■	■							2	

重点分野2 (中目標)	基礎的サービス強化と格差是正への配慮
----------------	--------------------

開発課題2-1 (小目標) 基礎的サービス強化と格差是正への配慮	【現状と課題】 トーゴでは、近年マクロレベルで堅調な経済成長を遂げ、2020年も辛うじてプラス成長を維持したが（GDP成長率1.8%：2020年、世界銀行（WB））、コロナ禍で経済的な停滞が見られる。また、人間開発指数の順位は189か国中167位（2019年、国連開発計画（UNDP））であり、貧富の格差拡大や基礎的サービスへのアクセスは引き続き課題である。トーゴ政府は、PNDの第3の柱として、最も脆弱な社会階層に焦点を当てた格差の是正及び基礎的サービスへのアクセス向上に向けた取組を規定している。	【開発課題への対応方針】 経済成長に伴う国内格差の拡大を防ぎ、包摂的な成長を実現すべく、回廊開発とあわせて社会サービスへのアクセス向上を支援する。													
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
					2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度					
	基礎的サービス強化と格差是正への配慮プログラム	上記開発課題への対応方針に鑑み、格差是正にも十分配慮しつつ、教育、保健、水分野を中心とした社会サービスへのアクセス向上を支援する。	保健、ガバナンス、水資源等の課題別研修	課題別研修他	■	■								3,6,16,17	
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ） 「修士課程及びインターンシッププログラム」	個別研修	■	■	■								4,8,9
			援助調整	個別専門家		■	■	■							17
			食糧援助（令和2年度）	食糧援助	■										3,00 2
		教育、保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■									0,23 3,4	
		SDGsグローバルリーダー	個別研修	■	■	■	■							4	

【凡例】 「協賛」＝全ての協力準備調査、「詳細設計」＝（詳細設計）、「基礎情報調査」＝（基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」＝（技術協力プロジェクト）、「開発計画」＝（開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」＝（個別機材）、「個別研修」＝（課題別研修他）（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」＝（JICA海外協力隊）、「第三国専門家」＝（第三国研修）、「現地国内研修」＝（科学技術）（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技術」＝（草の根技術協力）、「〇〇省技協」＝（外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」＝（開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」＝（途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」＝（以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「食糧援助」＝（食糧援助）、「一般文化」＝（一般文化無償資金協力）、「草の根文化」＝（草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」＝（緊急無償資金協力）、「日本NGO」＝（日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」＝（草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」＝（円借款、海外投融資）、「マルチ」＝（国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「基礎調査」＝（中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」＝（中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」＝（中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」）、「実線」＝（実施期間）、「破線」＝（実施予定期間） ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当欄略語を記載したうえで使用する。
 【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
 【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf